

茨城県国際理解教育推進協議会
会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 笠間市立友部第二中学校 担当教諭名 青葉 洋三

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成21年 9月24日(木) 13:40 ~ 15:40
対象学年と人数	3年生 141名(4クラス)
派遣講師名と出身国	ニセラタ(ブルンジ) エサオ(マラウイ) サルバドール(東ティモール) サラット(カンボジア) グレゴリー(タンザニア) ハバシ(エジプト) ハフィズ(パキスタン) チャリティ(マラウイ) キムウオンレン(ミャンマー) マオルーフ(スリランカ) ブレイス(ルワンダ)
活動の内容	開会セレモニー 学校の紹介 吹奏楽部の演奏 講師の方の自己紹介 交流タイム 講師の方々の国の紹介・生徒からの質問タイム
生徒・保護者等参加者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・話してみるととても温かい方たちで楽しい時間が過ごせました。今まで知らない国でしたが話を聞いてよくわかりました。ブルンジ・マラウイ・東ティモールはいい国だと思いました。日本と同じ事も違う事も分かってとてもおもしろかった。もっと知りたいと思いました。 ・パソコンやインターネットではわからないことも実際に来てくださって本当によくわかりました。ルワンダの大虐殺の話を聞いて、悲しいことはどの国にもあるのだと思いました。野生のマウンテンゴリラの話を聞いて会ってみたいと思いました。 ・最初は緊張した感じで大丈夫かなと思ったけど、だんだん楽しい雰囲気になったので良かったです。少しの間だったけど、2人の人柄とかも少し分かったし、国のこともほんの少しわかりました。あと、その国についてとても興味がわきました。もっと知りたいです。 ・知らない国のことを学べて良かったです。英語で質問するときも落ち着いてできました。日本に対してもっているイメージがよいと聞いて嬉しくなりました。
先生の感想	生徒たちは、外国人と直接触れ合う機会は英語の授業時間にALTと触れ合う程度でほとんどないため、初めは緊張している様子でしたが時間とともに温かい人柄が生徒たちに伝わり、楽しい時間が過ごすことができました。講師の方によっては、写真を準備して頂いたり、踊りや歌を披露して頂いたりしたため、生徒たちは大変興味をもって話を聞くことができたようです。

